

製品名: Nogo B 受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02349**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

抗原情報

遺伝子名	NUS1
別名	NgBR; MRD55; CDG1AA; C6orf68; TANGO14; MGC:7199
遺伝子 ID	116150
SwissProt ID	Q96E22
免疫原	ヒト Nogo B 受容体の合成ペプチド

背景

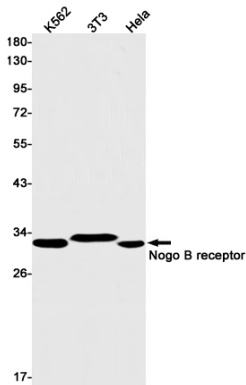
DHDDS とともに、ドリコールリン酸 (DoI-P) 生合成機構の必須構成要素であるデヒドロドリチルニリン酸合成酵素 (DDS) 複合

体を形成する。両サブユニットは酵素活性に寄与し、イソペンテニルピロリン酸 (IPP) の複数コピーをファルネシルピロリン酸 (FPP) に縮合させてデヒドロリチルニリン酸 (Dedol-PP) を生成する。Dedol-PP はドリコールリン酸の前駆体であり、小胞体 (ER) におけるタンパク質グリコシル化において糖輸送体として利用される (PubMed:21572394、PubMed:25066056、PubMed:28842490)。新生 NPC2 のグリコシル化と安定性を制御し、LDL 由来コレステロールの輸送を促進する。神経および心血管の調節因子である Nogo-B の N 末端の特定の受容体として機能します (PubMed:16835300)。

研究分野

-

画像データ



Nogo B 受容体抗体を使用した K562、3T3、Hela 溶解物中の Nogo B 受容体のウエスタンブロット分析。